

日本における医学・医療への研究助成の将来に関するSTMの声明

私たちThe International Association of Scientific, Technical and Medical Publishers (STM)は、学術出版のプロセスが医学的知識のたゆまぬ進歩と、さらに重要な国民の健康の向上を支えていると考えます。そのような観点からSTMは、日本の医学研究に対する助成のあり方に見られる近年の傾向が、医学界に損失をもたらす可能性があるかと懸念しています。

日本の医学・医療従事者は、国民の健康状態に対処するとともに、各種の健康状態や慢性疾患の継続的治療が向上するような環境づくりも行う必要があります。その実現のためには、医療従事者が世界各国の国際的および地域的な医学文献にアクセスできることが不可欠です。

医学研究に対する投資額は、世界全体では年4.5%の伸びを示しているのに対して、日本ではわずか1.5%の伸びに留まっています（2010年以降にWeb of Science掲載誌で出版された研究論文を参照）。この投資額の低さにさらに拍車をかけているのが、科学・技術・工学・医学(STEM)の全分野にわたる論文生産の停滞です。論文生産数の伸び率は、世界平均の年4.1%に対して、日本ではわずか0.2%に過ぎません。

研究成果の論文出版において日本の占める割合が低下していることを示す研究は複数あり、最も新しいものはNature Index¹に発表されています。Nature Index 2017年版によると、良質な論文に占める日本の割合は、2012年から2016年の間に6%減少しています。中国の論文生産が急激な伸びを示しているため、米国をはじめとする他の有力国も中国の伸びと比較すれば相対的に低下したことになります。しかしながら、論文生産における日本の地位低下は絶対的な指標でも示されています。Clarivate Analytics社のWeb of Science (WOS)やElsevier社のScopusデータベースによるデータも、こうした日本の低落傾向をさらに示すものとなっています。WOSによると、14の学術分野のうち11分野で、2015年の日本の論文生産数が2005年の水準を下回りました。最も急激な下落を示したのは計算機科学の分野で、この10年間に論文生産数は37.7%も減少しました。またScopusデータベースによると、2005年から2015年にかけて世界全体での論文生産数は約80%増加したのに対して、日本の論文生産数の伸びはわずか14%に留まり、その間に世界全体に占める日本のシェアは7.4%から4.7%に低下しました。

日本や米国、ドイツ、英国、中国、韓国といった主たる研究大国の中で、そのように顕著な下落を見せているのは日本だけです。中国や韓国は論文出版に占める割合で堅調な増加を示しており、全分野を通じて特に医学に限っても、アジア地域の中での地位の変動が目立ちます。

こうした中で、ノーベル生理学・医学賞の最新の日本人受賞者である大隅良典氏が医学・医療研究への助成を増額する必要性を訴え、医学研究を促進するための方法の策定を進めていることは注目に値します。^{2,3}

同時に、海外のオンライン医学文献に対して8%の消費税課税が導入され、さらに国内で出版される医学文献に対する消費税が5%から8%へと引き上げられたことは、大学や病院の図書館にとって非常に厳しい負担をもたらしています。私たちSTMは日本政府に対し、臨床および学術文献に対する消費税軽減を検討すること、もしくはさらなる消費税増税を行わないことを要請します。これにより、医学・医療従事者にとって欠くことのできないこうした文献を病院や大学の図書館が購入する上での負担を軽減できます。

出版社による科学・技術・医学分野の研究成果の流通を支援することを目標とする私たちSTMは、日本の医学・医療従事者が医学研究にアクセスする上での妨げとなりうるものは取り除くか、少なくとも軽減させるよう提案します。また私たちは、日本の医学・医療研究に対する助成の水準についてアセスメントを行うことを要請します。日本の論文生産を、少なくとも他の先進諸国に匹敵する水準まで引き上げるためには、研究助成の増額が必要と考えます。

参考文献

1. <http://www.natureindex.com/supplements/nature-index-2017-japan/index>

- 'The Fourth Age of Research', Jonathan Adams, Nature, 497,557-560 30 May 2013
2. <http://www.asahi.com/ajw/articles/AJ201612120041.html>
 3. <http://www.asahi.com/articles/ASJDC7JJTJDCUBQU11D.html>
 3. <http://mainichi.jp/articles/20161212/k00/00e/040/115000c>
<http://mainichi.jp/english/articles/20161212/p2a/00m/0na/008000c>

STMについて

STM は、科学技術・医学・学術分野の出版社 120 社以上を会員とする国際的団体です。その加盟出版社全体で、世界の学術論文の 60%以上を出版し、また現在アクティブな学術誌の 55%を発行、さらに何万点もの書籍（冊子体および電子版）、参考図書類、データベースを出版しています。STMはあらゆる種類の STM（理工医学）出版社を等しく代表する唯一の国際的団体で、その会員には大小さまざまな商業出版社、非営利団体、学協会、一次・二次文献の出版社、伝統ある出版社から新興出版社まで幅広く含まれます。